

# 日本地域福祉学会

No.67 2012.05.10

発行 日本地域福祉学会

〒160-0008 東京都新宿区三栄町8 森山ビル西館401

TEL 03-5363-1518 FAX 03-5363-1519

URL <http://www.soc.nii.ac.jp/jracd/> E-mail [chiiki-g@jt2.so-net.ne.jp](mailto:chiiki-g@jt2.so-net.ne.jp)

発行人：牧里 每治 編集人：小松 理佐子

## CONTENTS

第26回大会の開催にあたって	1
震災特別研究委員会報告	2
東北部会報告	4
日本都市計画学会との共同研究報告	5
韓国地域社会福祉学会との交流報告	6
日韓地域福祉サミット報告	7
ACOSA 報告	7
新入会員紹介／Information	8



## 日本地域福祉学会

### 第26回大会の開催にあたって

第26回大会実行委員会委員長 岡本 恵也

(熊本学園大学 学長)

日本地域福祉学会の会員の皆様、本年6月9日（土）と10日（日）、熊本学園大学にて第26回大会が開催されます。

3・11 東日本大震災は、これまでの科学の叡智をはるかに超え、自然のもつ力の脅威を痛感させられました。社会の仕組みや地域のもつ包容力や家族の絆とは何かを改めて厳しく問われる時代に突入したと受け止めています。研究者や実践者達は地道に地域の人びととともに歩き、自然の営みに学ぶ態度を持ってきました。かつて、本学の研究者たちの中には、1950年代には学校社会事業の視点から長期欠席の子どもたちに対するソーシャルワークを展開した研究者や、水俣病が明らかにされる前に水俣の地に出向き、福祉事務所のワーカーや学生とともに、家庭訪問をしながら生活課題や福祉課題を明らかにした研究者がいました。少子超高齢社会の中で、家族・地域の崩壊が叫ばれ、「無縁社会」が日常化する状況を克服する叡智をさらに強く持たなければなりません。鹿児島のある地域では、「行き倒れた人」を葬る石碑を「有縁仏」として丁寧に埋葬しています。「無縁」から、すべての出来事を「有縁」とする人びとに学ばなければなりません。

地域福祉学会に参集される会員各位が、大会テーマである「新たなコミュニティの創造と地域福祉の課題—受苦からの再生」のもと、生命とは何か、生活や暮らしとは何か、地域とは何か、地域のもつ力や包容力や教育力は何か、社会福祉とは何かと、思索しつつ研究と実践に向かい合い、交流と連携を深める大会になることを願っています。

熊本学園大学は2012年には、70周年を迎えます。また、熊本市は政令指定都市となった記念すべき時に大会を開催でき、多くの皆様の研究と実践の交流ができることをうれしく思います。大会の成功を祈念いたします。